百の歴史を、千の未来へ
千葉市制100周年

教育だよりちば

EDUCATION of CHIBA CITY

7月号 2021年（令和3年）

VOL.123

●発行：千葉市教育委員会 ●編集：教育総務部企画課 〒260-8730 千葉市中央区問屋町1番35号 TEL：043-245-5908 FAX：043-245-5988
●「教育だよりちば」は、年4回（4月・7月・10月・1月）発行。HPやスマホアプリでも閲覧できます。 教育だよりちば 検索

おいしく食べて楽しく学ぶ 学校給食

学校給食は、成長期の子どもたちの健やかな体と豊かな心を育みます。そして、生涯にわたって健康で活力ある毎日を送るための、食の正しい知識や重要性などを学ぶ教材としての役割も果たしています。

千葉市の給食

千葉市立小・中学校、養護学校、第二養護学校、高等特別支援学校の児童生徒と教職員を対象に、1日およそ75,000食の給食を提供しています。

都小学校

給食の献立は、1日に必要な栄養素の3分の1を摂取できるように栄養教諭等が作成しています。

食育の取組み

給食に使用する食材に触れる体験活動を実施しています。食材について学び、実際に手触りを確かめ、給食で味わう活動を通して、食べ物への興味や関心を高めます。

緑町小学校 そらまめのさやむき体験

2ページで詳しく紹介します。

千葉市長
神谷（かみや） 俊一（しゅんいち）

このたび、千葉市長に就任しました神谷俊一です。

千葉市は、1921年1月に市制を施行してから、今年で100周年という歴史的に大きな節目を迎えました。そのような中、学校教育においては、「ＧＩＧＡスクール構想」に伴い整備した1人1台のタブレットＰＣを活用し、「協働的な学び」「創造性を育む教育」「効率的な個別学習」の充実など個々の児童生徒に寄り添う教育を実践します。また、不登校児童生徒を支援するため、相談機関の機能充実やフリースクールとの連携に取り組むほか、様々な事情により十分な教育を受けられなかった方に対応するため夜間中学を設置するなど、一人ひとりに寄り添った教育を進めてまいります。

この他にも、第3子以降の給食費無償化、特別教室へのエアコン整備、トイレの洋式化やドライ化など学校施設の計画的な改修等、教育環境の改善も図ります。

さらに、生涯学習においては、「最新の科学を より魅力的に さらにわかりやすく」をコンセプトとして千葉市科学館のリニューアルを進めるとともに、市制施行100周年に合わせて、千葉市の原始古代から現代までの歴史を学ぶことができる「千葉市の歴史読本（仮称）」を刊行します。

新型コロナウイルス感染拡大が多くの人々の生活に影響を与える中、感染防止対策を取り入れた学校での新しい生活様式の中でも、子どもたちが健やかに成長し、未来を開き支えていく存在となるため、今後も教育委員会と連携し、教育の振興を図ってまいりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

目次

P2 学校給食の取組み / 第3子以降の学校給食費無償化
P3 科学館夏休み企画 / 「青少年の日」及び「家庭・地域の日」
P4 郷土博物館 令和3年度特別展
P5 加曽利貝塚夏休み縄文ウィーク / 南部青少年センター夏休み企画
P6 学校に行けなくて悩んでいる方への支援 / 学校・家庭間連絡システム「すぐーる」導入
P7 教育相談窓口のご案内